個人投資家様向け
会社説明会

2025年12月16日

株式会社日本ケアサプライ

東証スタンダード　証券コード：2393

目次

1　会社概要

2　事業環境および事業内容

3　長期ビジョン（2025年2月3日公表）

4　決算ハイライト（2026年3月期2Q）

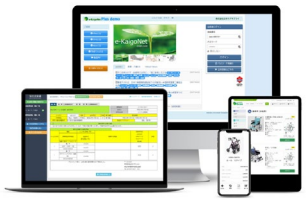
5　株主還元

沿革

日本ケアサプライは、1998年に設立し、福祉用具レンタル卸という事業モデルを生み出して以来、ITの先駆的な活用をはじめ時代の変化に合わせながら事業基盤を強化し、着実に発展してまいりました。

1998 株式会社日本ケアサプライ設立

2000 介護保険制度開始と同時に福祉用具レンタル卸事業の本格稼働



2001 電子受発注システム「e-Kaigo Net」サービス開始

2001 オリジナル福祉用具「ケアフィット」（車いす）レンタル開始

2002 「ケアフィット」が日経優秀製品・サービス賞　受賞

2004 東京証券取引所マザーズへ上場

2004 全営業拠点が「福祉用具の消毒工程管理認定制度」の認定取得

2009 オリジナル福祉用具「ケア優」（特殊寝台）レンタル開始

2011 グリーンケアオンラインショップ（事業者向けBtoB ECサイト）開設

2014 東京証券取引所市場第二部へ変更

2016 「バランス弁当」（冷凍弁当）の提供開始

2020 グリーンケアフォーラムオンライン開始

2020 三菱商事㈱、ALSOK㈱及び当社の3社による資本業務提携契約を締結

2022 東京証券取引所スタンダード市場に移行

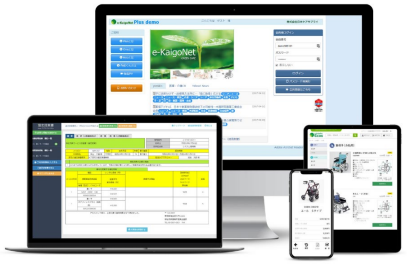
2025 長期ビジョン「けあさぷVision2040」公表

事業内容のイメージ

福祉用具サービス

介護保険制度の対象となる福祉用具を地域の福祉用具貸与事業者にレンタル、又は、販売するサービス

- 福祉用具 レンタル卸
- 福祉用具 新品・中古 販売
- 業務システム e-KaigoNet



高齢者生活支援サービス

高齢者やそのご家族への生活支援に繋がるサービス

- 食事サービス
- グリーンケア オンラインショップ
- フィッティング 付きおむつ 配送サービス

社是・企業理念

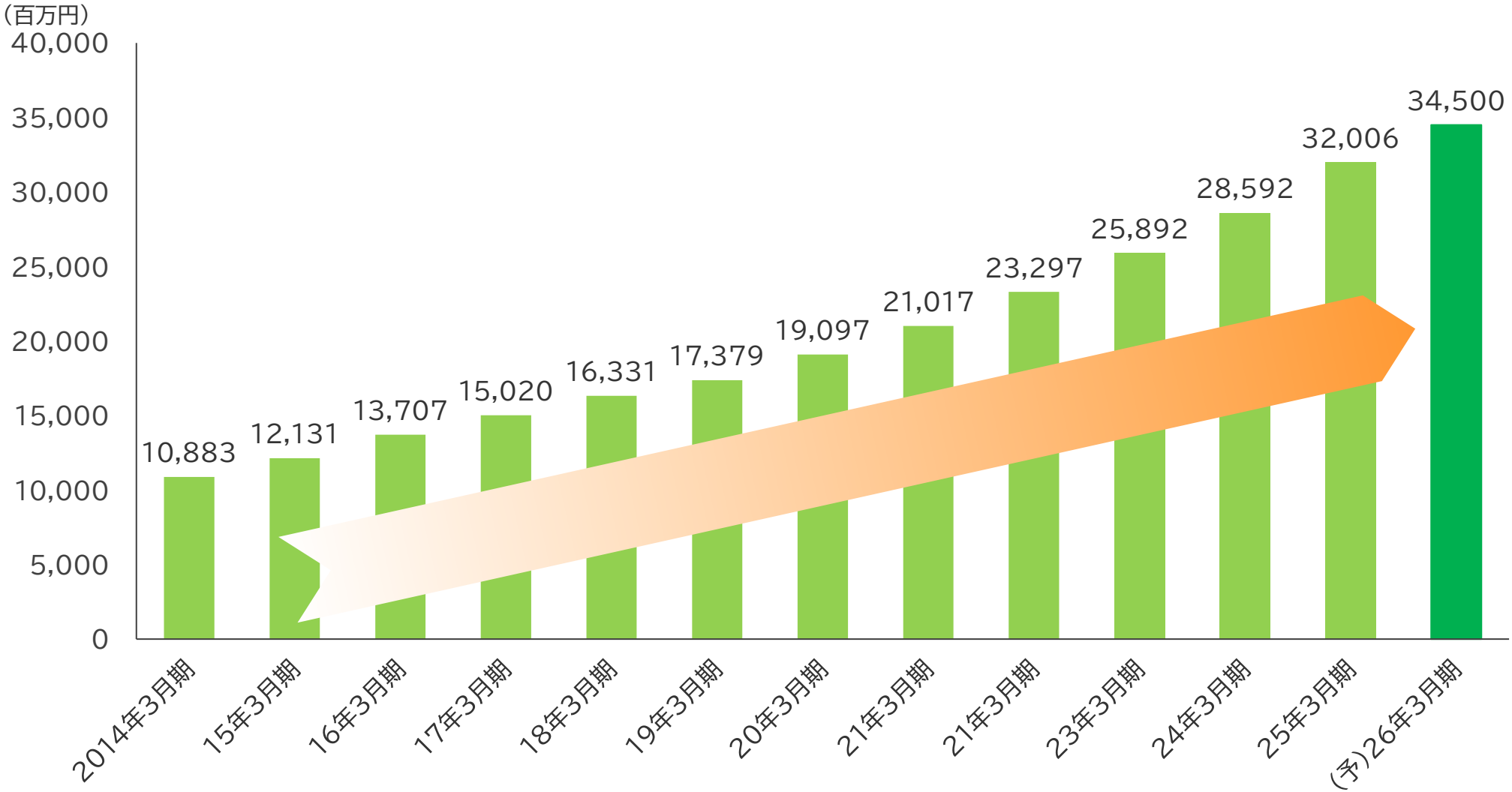
社是	「健康長寿社会への貢献」
企業理念	私たちは「品質第一」に徹し、安心で清潔な商品を提供します。 私たちは「誠実第一」に徹し、丁寧でまごころを込めたサービスを提供します。
長期ビジョン	「けあさぷVISION2040」 ～自分らしく生きる。明るい未来の共創～

ロゴマークに込めた思い

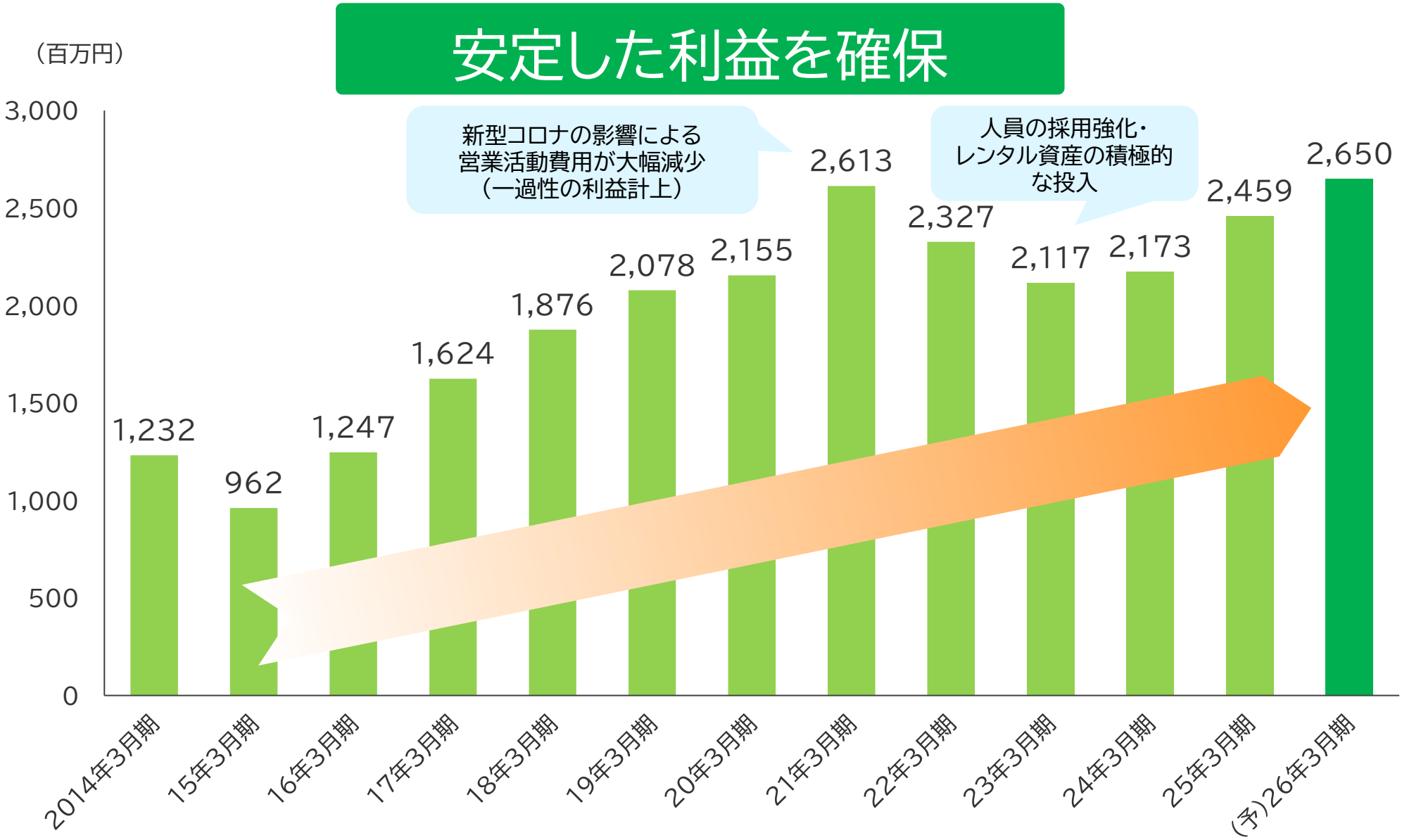
日本ケアサプライのロゴマークには、豊かな「健康長寿社会」のために、大きな包容力をもって社会に貢献する企業を目指す、当社の思いが込められています。
緑色の部分は“環境”。太陽の恵みを受けたみずみずしい緑が生命を育みます。
黄色の部分は“人”。すべての人の幸福が私たちの願いであり使命です。
緑に囲まれた三者は、それぞれ「メーカー」「事業者」「利用者」を意味しています。

連結売上高の推移

10年連続で売上高は過去最高を更新

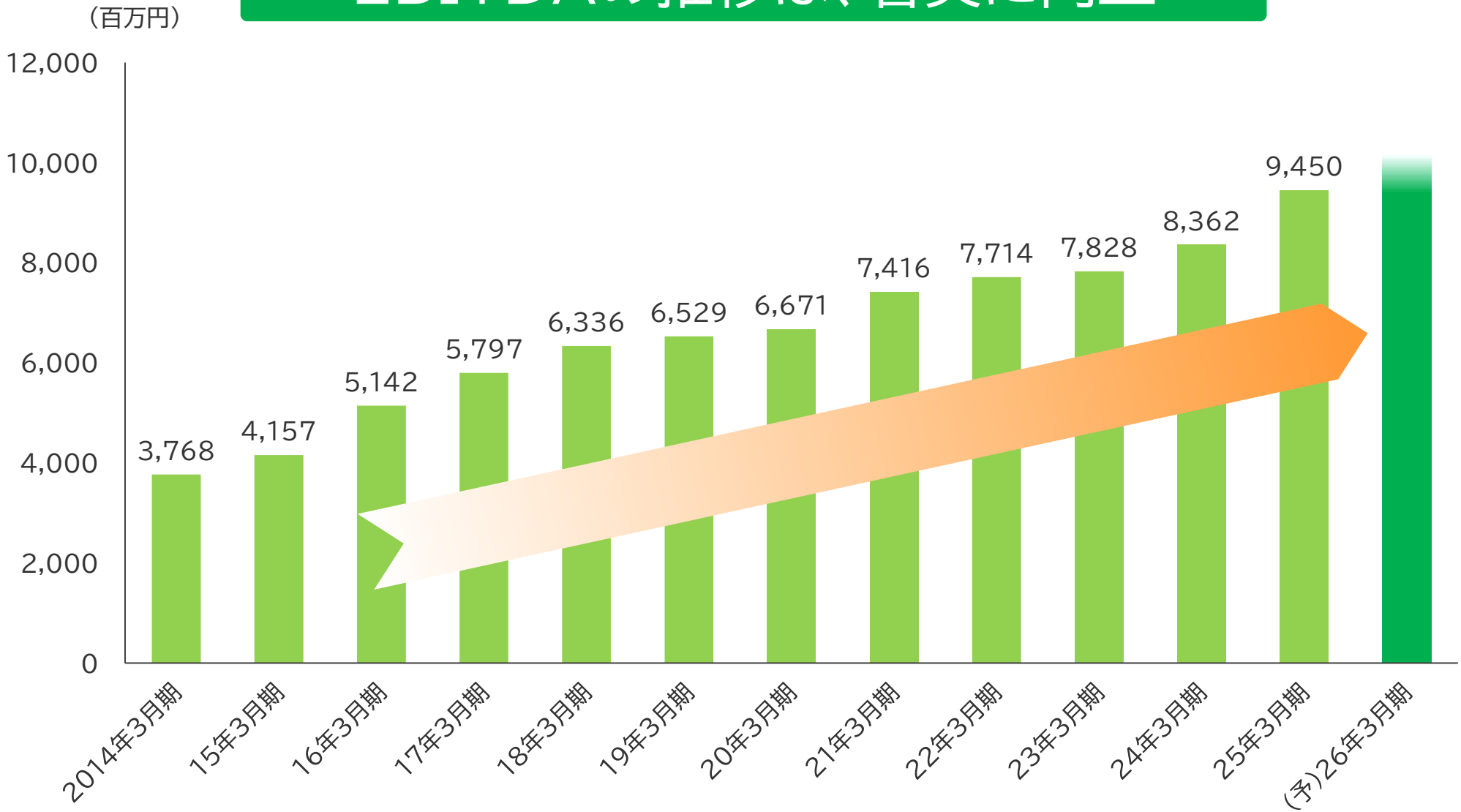


連結営業利益の推移


安定した利益を確保
（百万円）
新型コロナの影響による
営業活動費用が大幅減少
（一過性の利益計上）
人員の採用強化・
レンタル資産の積極的
な投入
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
1,232
962
1,247
1,624
1,876
2,078
2,155
2,613
2,327
2,117
2,173
2,459
2,650
2014年3月期
15年3月期
16年3月期
17年3月期
18年3月期
19年3月期
20年3月期
21年3月期
22年3月期
23年3月期
24年3月期
25年3月期
(予)26年3月期

EBITDA※の推移

EBITDAの推移は、着実に向上



※経常利益＋支払利息＋減価償却費

目次

1　会社概要

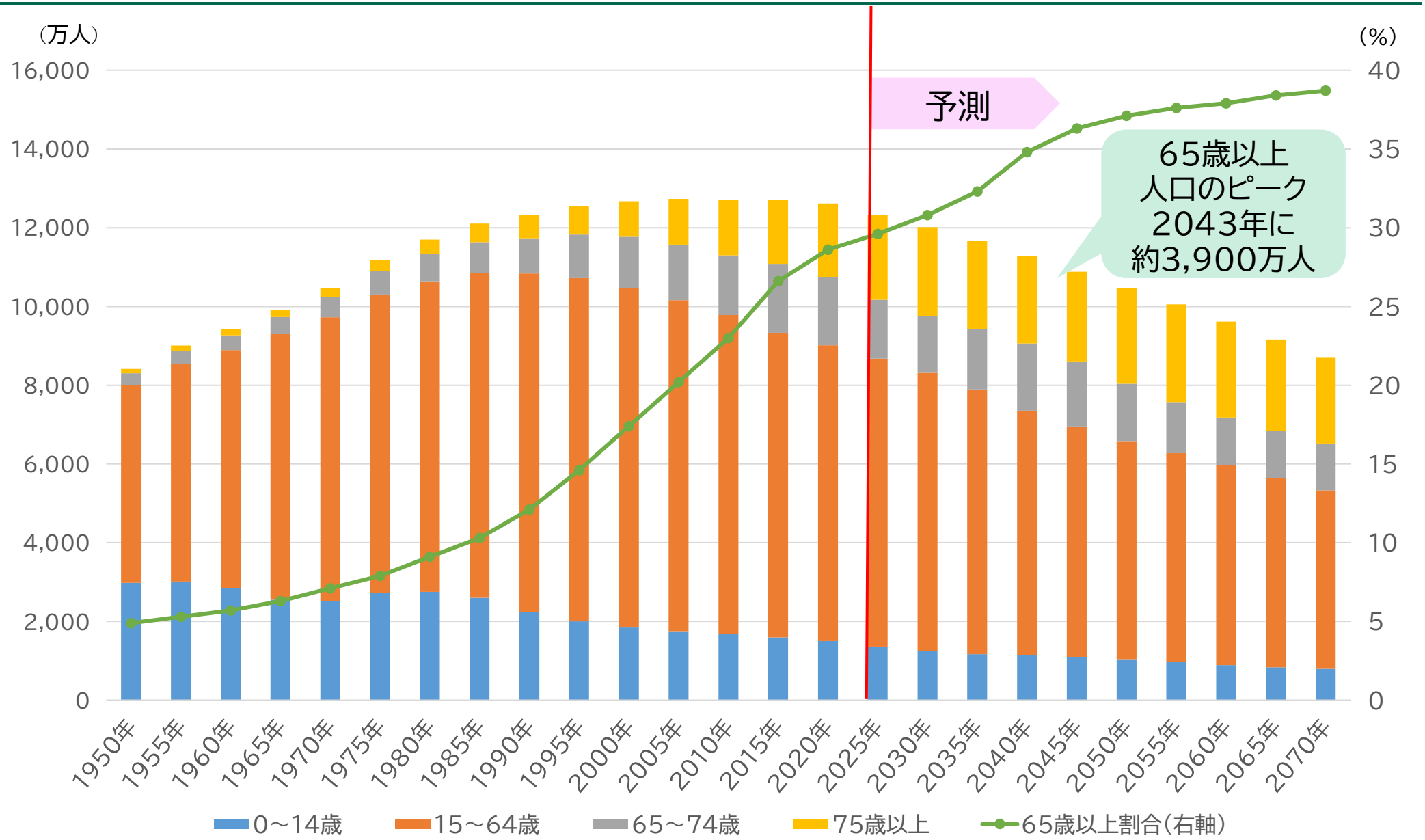
2　事業環境および事業内容

3　長期ビジョン（2025年2月3日公表）

4　決算ハイライト（2026年3月期2Q）

5　株主還元

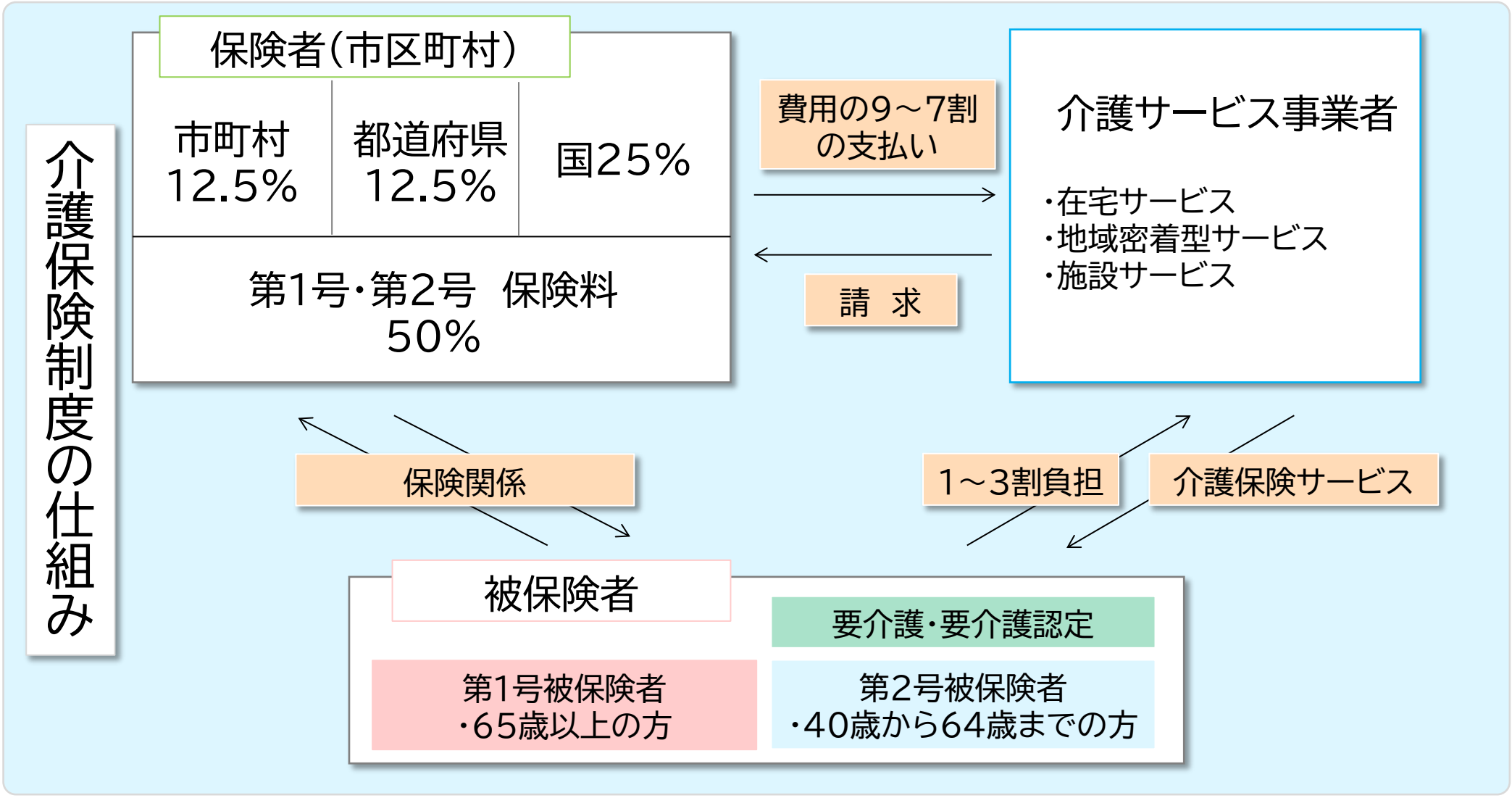
高齢者人口の推移



高齢社会白書より

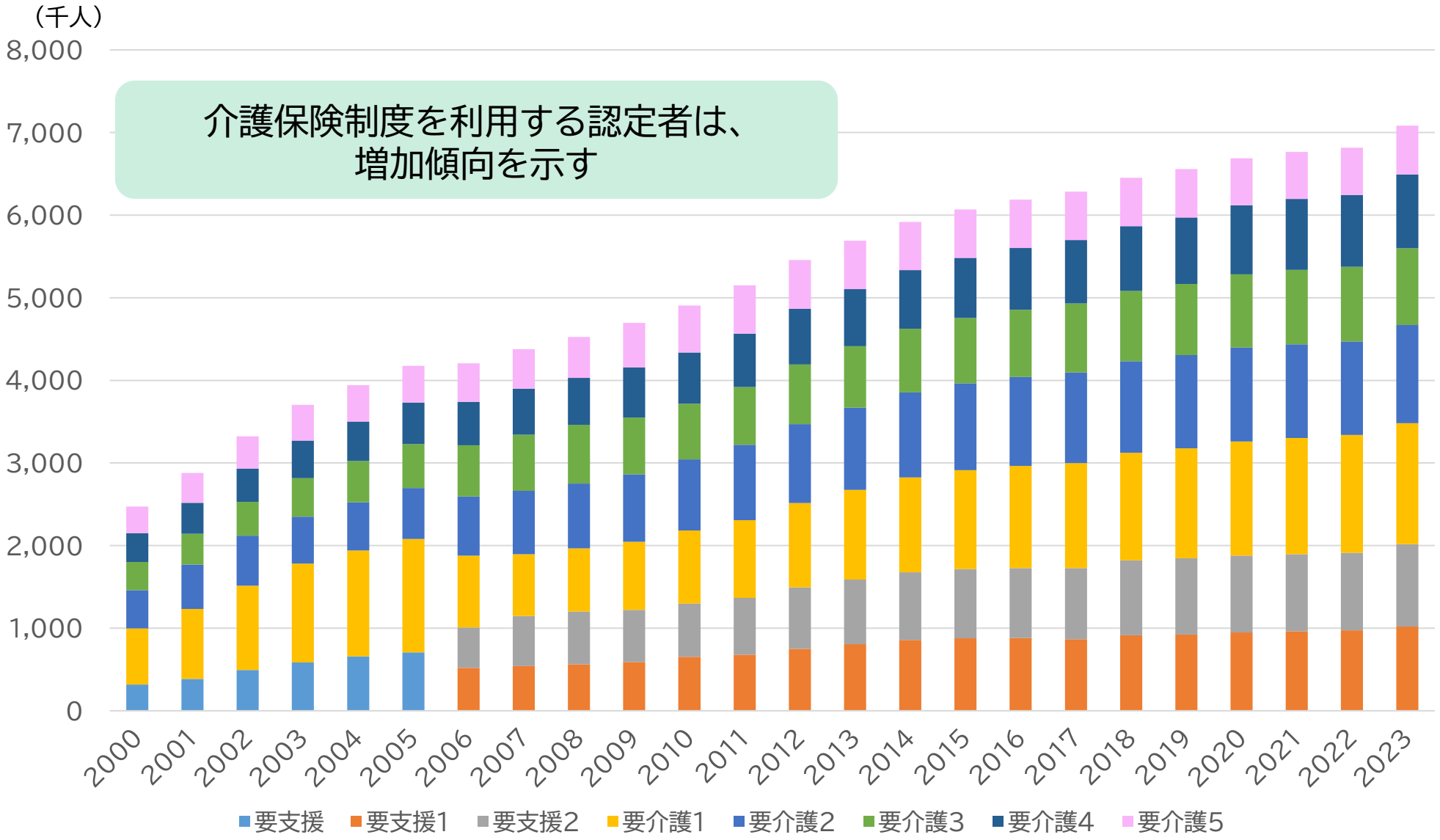
介護保険制度の概要

2000年に創設された介護保険制度は、現在、約700万人の方が要介護（要支援を含む）認定を受け、介護を必要とする高齢者を支える制度として定着しています



厚生労働省HPより

介護保険の認定者の推移



厚生労働省「介護保険事業状況報告」より

介護保険サービスの種類と利用状況(2025年4月審査分)

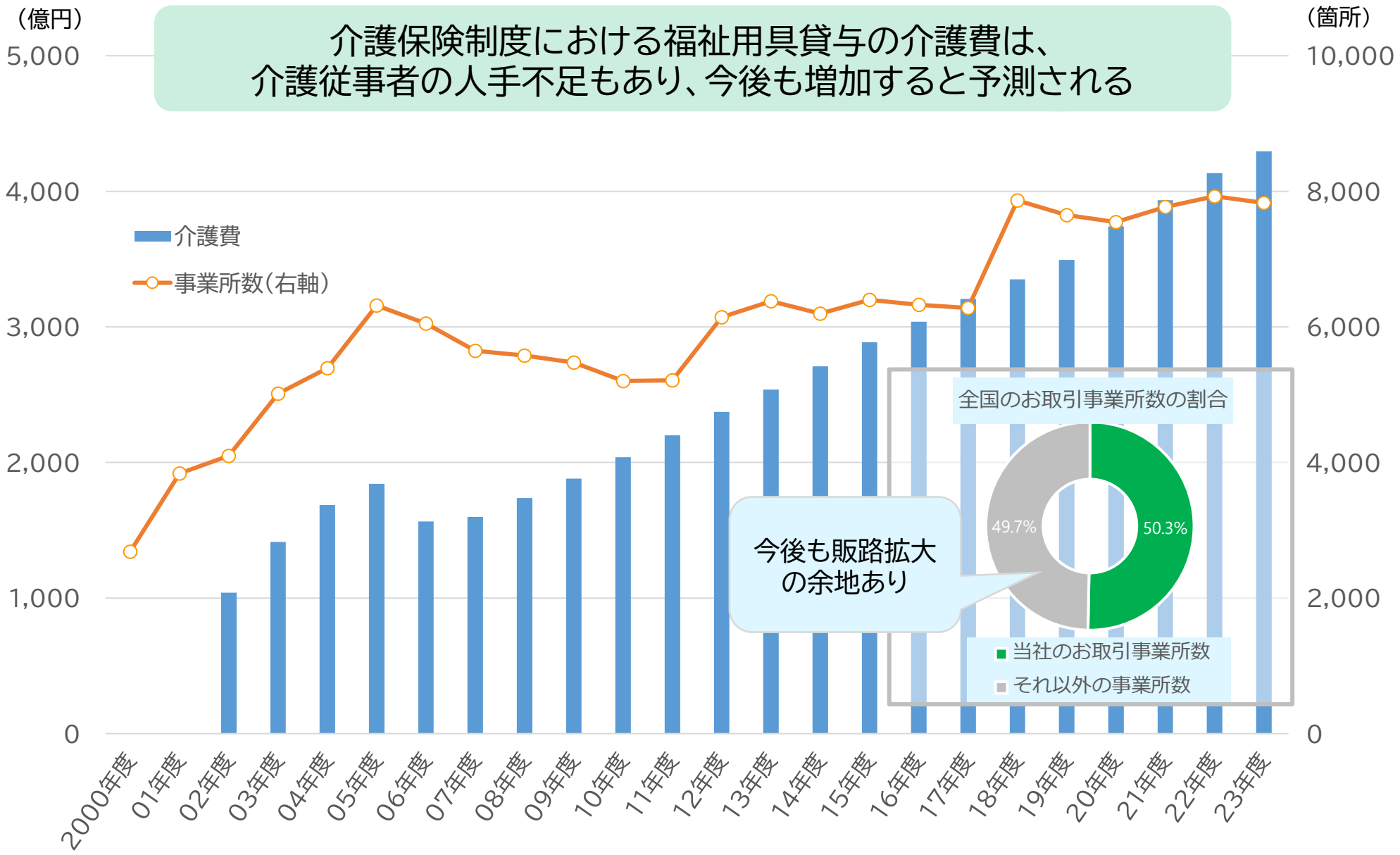
「福祉用具貸与サービス」は、費用負担が比較的低いながら、
利用者数が多く、効率の良いサービスとして定着しています

サービス種類			内容	受給者数(千人)		介護費用(十億円)	
					割合		割合
合　計				5,729	100.0%	1,010	100.0%
居宅サービス計			自宅で生活しながら支援を受けられるサービス。	4,468	78.0%	463	45.8%
	訪問通所サービス小計		日帰りで施設等を利用したり、自宅で利用するサービス。	3,805	66.4%	342	33.8%
		訪問介護	訪問介護員(ホームヘルパー)が、入浴、排せつ、食事などの介護や調理、洗濯、掃除等の家事を行うサービス。	1,110	19.4%	104	10.3%
		訪問入浴介護		66	1.2%	5	0.5%
		訪問看護	自宅で療養生活が送れるよう、看護師等が清潔ケアや排せつケアなどの日常生活の援助や、医師の指示のもと必要な医療の提供を行うサービス。	839	14.6%	38	3.8%
		訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ		153	2.7%	6	0.6%
		通所介護	食事や入浴などの支援や、心身の機能を維持・向上するための機能訓練、口腔機能向上サービスなどを日帰りで提供。	1,193	20.8%	111	11.0%
		通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	施設や病院などにおいて、日常生活の自立を助けるために理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などがリハビリテーションを行い、利用者の心身機能の維持回復を図るサービス。	601	10.5%	39	3.9%
		福祉用具貸与	**日常生活や介護に役立つ福祉用具(車いす、ベッドなど)のレンタルができるサービス。**	**2,829**	**49.4%**	**38**	**3.8%**
	短期入所サービス小計		施設などに短期間宿泊して、食事や入浴などの支援や、心身の機能を維持・向上するための機能訓練の支援などを行うサービス。	341	5.9%	41	4.0%
	居宅療養管理指導等		有料老人ホームなどに入居している高齢者が、日常生活上の支援や介護サービスなど。	1,558	27.2%	80	8.0%
	居宅介護支援		ケアプラン作成・介護サービスの調整など。	3,851	67.2%	50	5.0%
地域密着型サービス計			定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護など。	947	16.5%	173	17.1%
施設サービス計			特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など。	979	17.1%	324	32.1%

厚生労働省　介護給付費等実態統計より

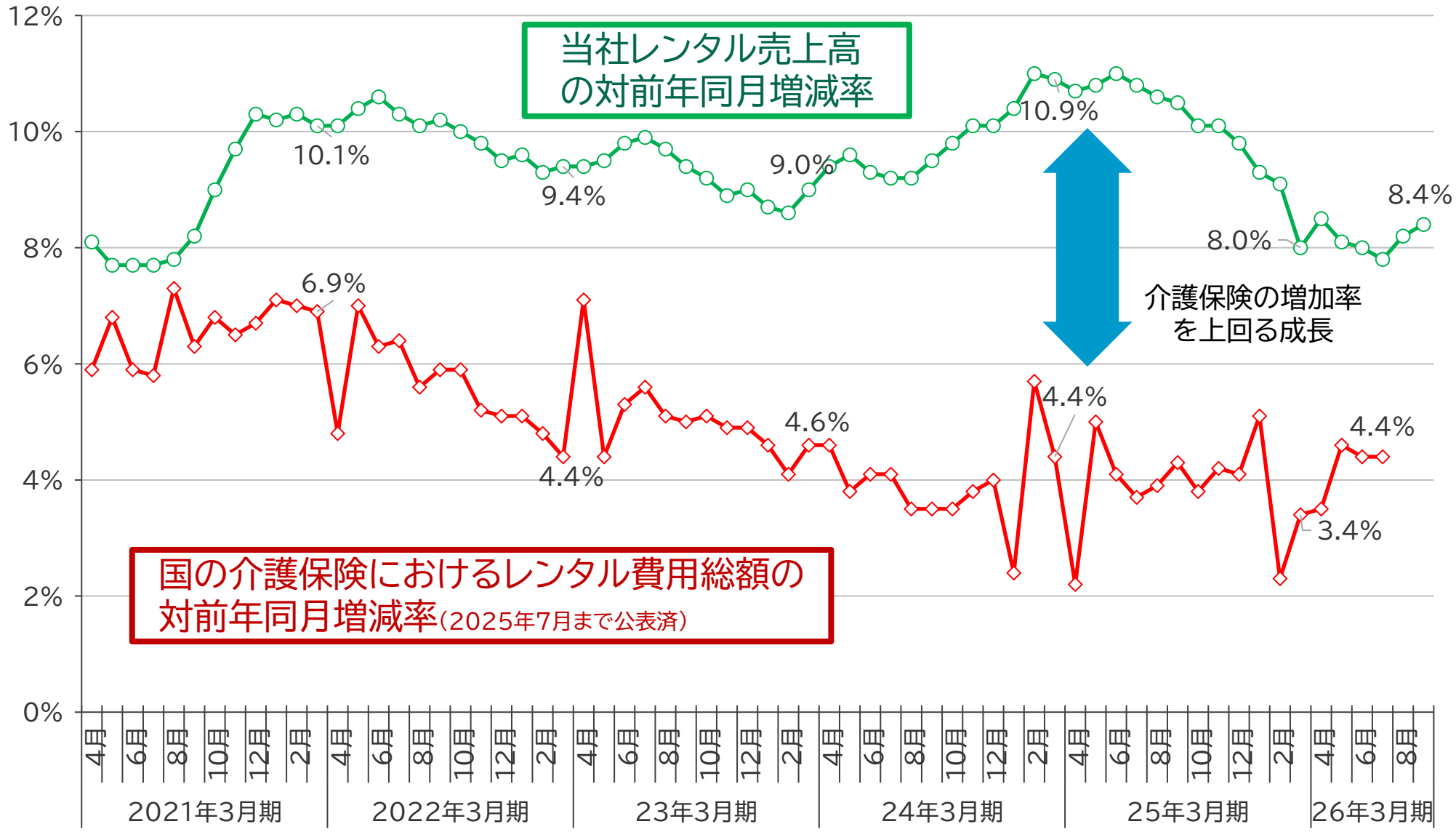
福祉用具貸与の介護費・事業所数の推移

介護保険制度における福祉用具貸与の介護費は、
介護従事者の人手不足もあり、今後も増加すると予測される



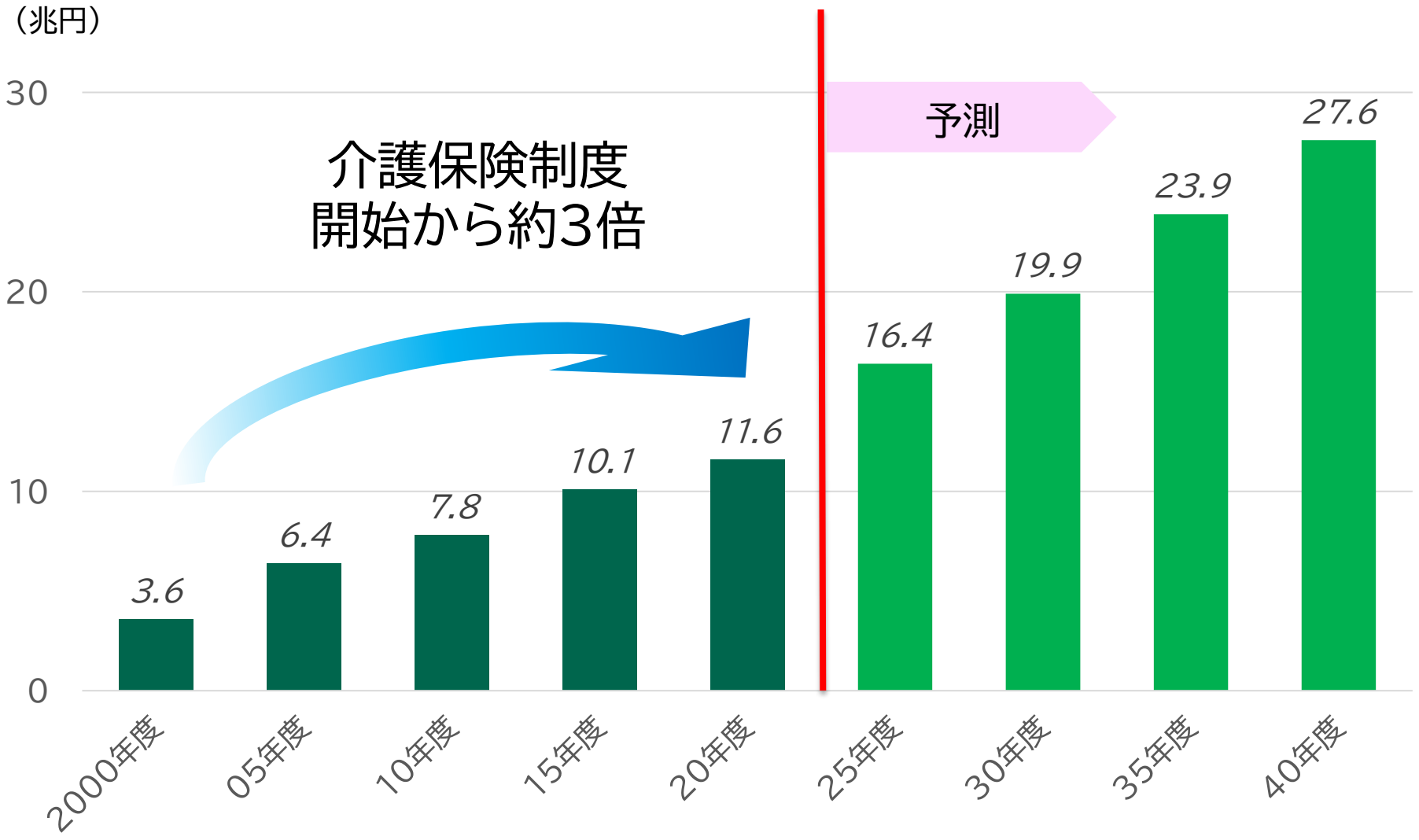
厚生労働省HP「介護保険制度における福祉用具貸与について」より

介護保険の福祉用具レンタル需要を上回る成長率



出所:(公)国民健康保険中央会資料より当社作成

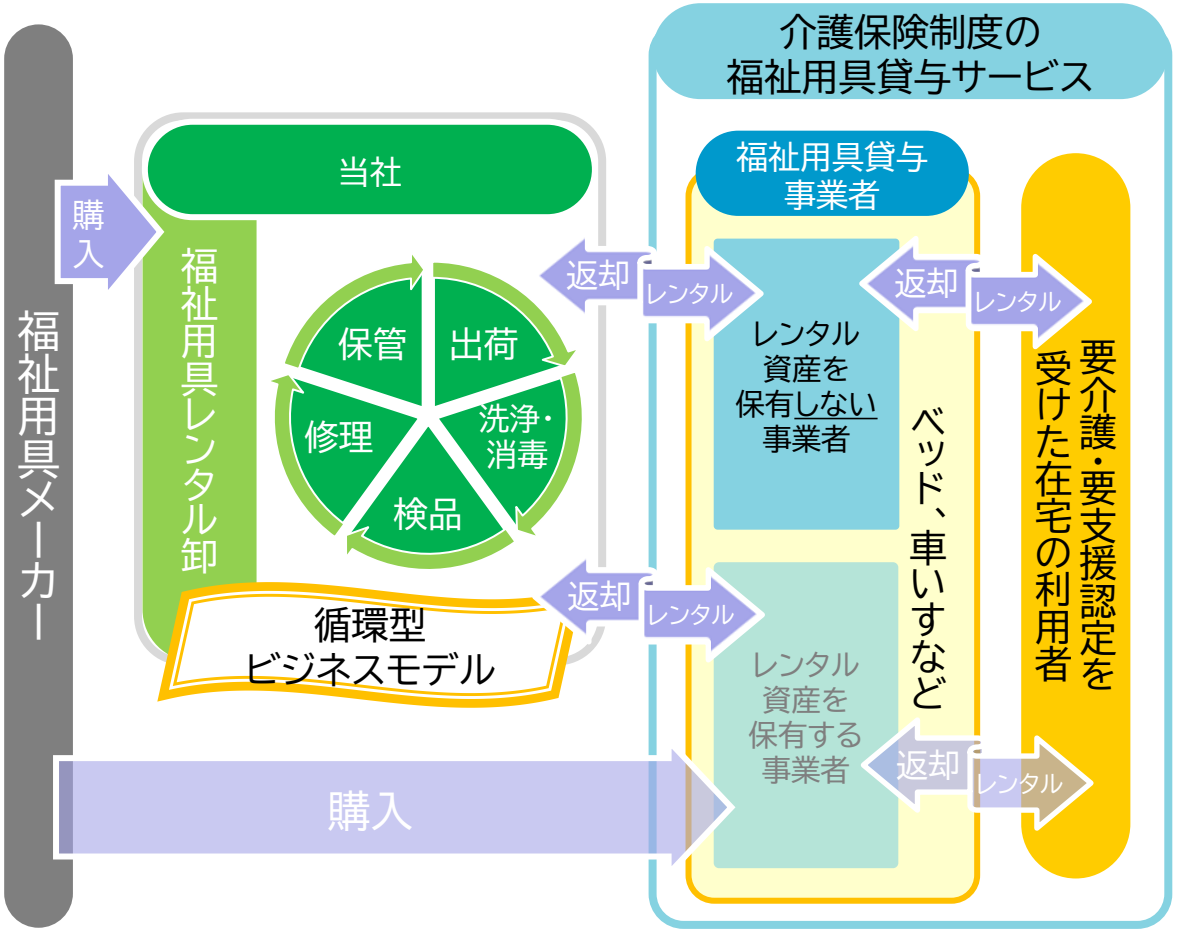
介護費の推移



厚生労働省HP
「介護保険制度における福祉用具貸与・販売種目のあり方検討会」
「2040年を見据えた社会保障の将来見通し」 より

福祉用具サービス（ビジネスモデル図）

当社が手掛ける福祉用具レンタル卸事業は、介護保険の対象となるベッド、車いす等の福祉用具を地域の「福祉用具貸与事業者」（以下、事業者）にレンタルし、さらに「事業者」が自宅で暮らす「利用者」に貸出します。使用後返却された福祉用具は、当社が洗浄・消毒、検品・修理して、再び「事業者」に貸出すリサイクルシステムです。資源を有効利用する循環型のビジネスモデルであり、当社が先駆けとなってこの仕組みを確立しました。



介護保険でレンタル対象の福祉用具13種目

2024年4月からレンタル対象の福祉用具のうち3種目（スロープ・歩行器・歩行補助杖の一部）でレンタル・購入の選択制を導入

介護保険で購入対象の福祉用具6種目

▲介護保険対象の福祉用具イメージ図

高齢者生活支援サービス（食事サービス）

病院や介護施設の調理業務を省力化
おいしさでご利用者に笑顔をお届け

・「バランス弁当」の商品ラインアップは、160種以上と充実
・事業拡大を見据えた物流倉庫の設置し、配送コストを削減

商品のご紹介

上段左から
・やわらか食　噛む力が弱くなった方向けのやわらかいおかずセット
・朝ごはん　朝食向けの小容量のおかずセット
・ムース食　飲込む力が弱くなった方向けの舌でつぶせるやわらかさのおかずセット

下段左から
・ふつう食　栄養バランスを確保しながら、様々な食材の組み合わせのおかずセット
・採食弁当　平均450kcalのごはん付きのお弁当

タレントの由美かおるさんが、「バランス弁当」のアンバサダーに就任

日東ベスト山形本社にある施設（上）と敷地内（下）の様子
当社ホームページより

「バランス弁当」について、より深く知っていただくため、主要な生産拠点の一つである食品メーカー日東ベスト山形本社の施設を見学していただきました。

バランス弁当　日本ケアサプライ　検索

高齢者生活支援サービス（ALSOKとの取組み他）

株主のALSOKと相互の拠点網や顧客基盤を活用し拡販を推進

＜施設向け家具＞

＜バリアフリー商材＞

▲施設向け商材の一例

ご自宅にお住いの高齢者のおむつ漏れをゼロにしたい

最適なおむつとモレない安心感を・・・

おむピタ

・メーカーの専門家によるおむつ選定やフィッティングでおむつ漏れを改善
・購入前におむつの試供品が利用可能
・メーカーからご利用者宅へ直送のため買い物の手間削減

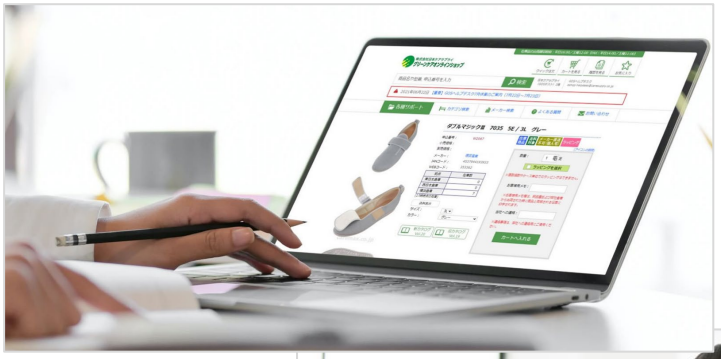
介護事業者支援

介護サービスの質の向上・効率化
グリーンケア フォーラム プレミアム

・法定研修、オンデマンドのスキルアップセミナー、業務効率化支援ツールを有償にて提供

厳選した生活関連商品を販売
グリーンケア オンラインショップ

・20万アイテムを超える充実した品揃え
・在庫商品は、平日16時までのご注文で当日出荷
・ヘルプデスクが丁寧にサポート



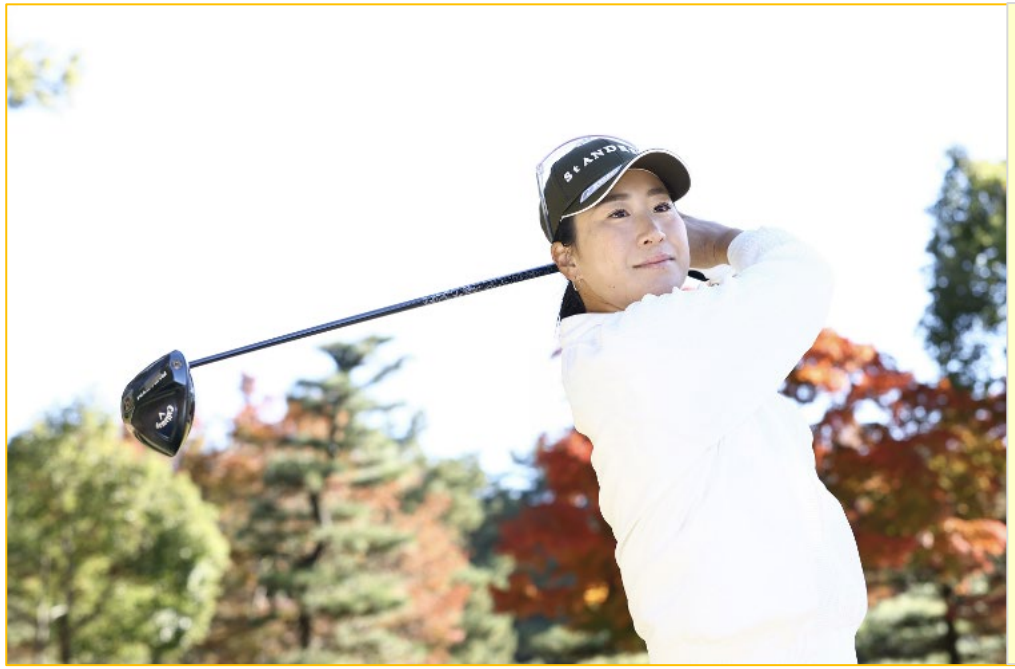
▲注文画面のイメージ

▼問合せ対応のイメージ

プロスポーツ選手との所属契約

プロゴルファーの木戸 愛(きど めぐみ)選手と所属契約を締結

大会では、当社のロゴを付けたキャディバッグや帽子などを使用するほか、当社が開催するイベントや広告活動へのご協力頂いております。
今後のさらなる活躍を支援してまいります。



▲木戸 愛 選手

＜主な経歴＞
・2008年　プロテスト合格
・2009年　ステップアップツアー「マルナカレディースオリーブカップ」優勝
・2012年　「サマンサタバサガールズコレクション・レディーストーナメント」初優勝
・2012～19年　8年間シード権を獲得
・2025年　「資生堂・JAL レディス」2位
「CAT Ladies」 2位タイ
「PLAY OF THE MONTH(7月度)」
メルセデス・ランキング　38位

目次

1　会社概要

2　事業環境および事業内容

3　長期ビジョン（2025年2月3日公表）

4　決算ハイライト（2026年3月期2Q）

5　株主還元

「けあさぷVISION2040」ありたい姿

豊かな「健康長寿社会」のために、大きな包容力をもって社会に貢献する企業を目指します。

「けあさぷVISION2040」

2040年に実現したい社会

高齢者を含むすべての人が、地域に貢献しながら「自分らしく」 生きることができる社会

若い世代も高齢者も全世代が支え合える社会

健康で豊かな生活を送れる社会

×

ありたい姿

高齢者を含むすべての人のより良い暮らしに必要なサービスを提供できる企業

ステークホルダーと共に社会課題を解決しながら、成長できる企業

「自分らしく」生きられる選択肢を提供し続けられる企業

（2025年2月3日公表）

「けあさぷVISION2040」全体像

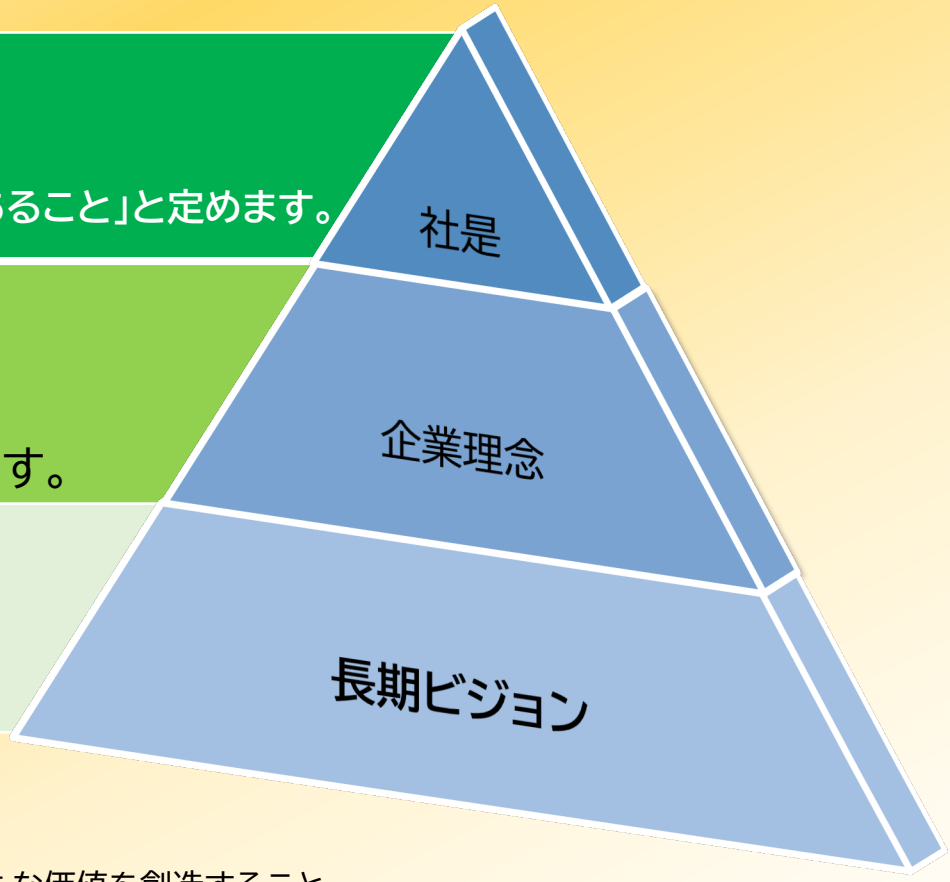
2040年度に向けた長期ビジョンとして
「けあさぷVISION2040」～自分らしく生きる。明るい未来の共創*1～
を定め、持続可能な健康長寿社会の実現を目指します。

「健康長寿社会への貢献」

当社が考える「健康」とは、WHOの定義*2に加えて、
「いくつになっても社会参加でき、自分らしく生活できる状態にあること」と定めます。

・私たちは「品質第一」に徹し、
安心で清潔な商品を提供します。
・私たちは「誠実第一」に徹し、
丁寧で真心を込めたサービスを提供します。

「けあさぷVISION2040」
～自分らしく生きる。明るい未来の共創～



*1：企業が、ステークホルダー（利害関係者）と協働しながら事業を行い、新たな価値を創造すること。
*2：病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること。

「けあさぷVISION2040」外部環境の認識

①高齢者人口がピーク、労働者人口の減少

- ・超高齢社会を少ない人材で支え、医療・介護費の増加
- ・ボリューム層の団塊世代ジュニアの高齢化
- ・都市部と地方との格差が拡大（地域経済の縮小）
- ・独居（特に男性）世帯の増加
- ・中国をはじめとしたアジア地域の高齢化の進展

②ニーズの多様化

- ・自力での生活を望む高齢者の増加
- ・地域の実情に合わせた介護保険外サービスの創出
- ・医療、介護の予防の意識向上および生活習慣の改善
- ・SDGsの次は、SWGs（Sustainable Well-being Goals）*

③テクノロジーの発展

- ・生成AIを始めとしたデジタル技術の進歩
- ・技術革新が産業構造に影響
- ・脱炭素社会の実現による生活環境の変化

*「サステナブル・ウェルビーイング・ゴールズ」
国連が、2030年迄を目標と定めた国際指標の「SDGs」に対し、2045年迄とする次の目標の候補に「SWGs」が注目されており、「SDGs」の枠組みを超えて、より深く人間の幸福や福祉に焦点を当てたもので、経済的、環境的、社会的な側面を統合し、持続可能な社会の実現に向けた新たな指針。

「けあさぷVISION2040」ステークホルダーとの向き合い方

取引先・顧客

- 安定的な供給力（商品・サービス・情報）の維持・拡大
- デジタル活用による業務負担軽減や人手不足解消を後押し
- 「品質第一」「誠実第一」の徹底による「顧客ファースト」の精神
- 取引先との協業により地域や社会課題を解決する新たなサービスの創出

株主・投資家

- 持続可能な成長に基づく企業価値向上
- 資本コストや株価を意識した経営
- 成長投資と株主還元のバランスを考慮しつつ、安定的かつ継続的な配当の実現

地域社会

- 地域社会からの孤立を防ぎ、社会参加できるインフラ作りへ貢献
- 住み慣れた地域の暮らしを守るための事業を継続
- 高齢者の暮らしを健康でより良いものに、自立して自分らしく生活を送れるようサービスを提供

従業員

- 働きやすい職場環境の継続的な整備
- ライフステージに合った働き方の選択肢を提供
- チャレンジできる環境や納得感のある評価制度および報酬体系の整備
- 自らの成長が会社の発展や社会への貢献へつながることを実感できる職場の提供
- 従業員の継続的なWell-beingの向上のため、積極的な人的資本への投資

サステナビリティへの取り組み（2040年度に向けた2030年度目標）

当社は、従来の資源を有効活用する循環型ビジネスである福祉用レンタルビジネスの推進に加え、以下の「サステナビリティに関する基本方針」に基づき、重点課題を継続的に取り組みます。

～サステナビリティに関する基本方針～

私たちは、社是である「健康長寿社会への貢献」を存在意義と定め、ステークホルダーの皆様との協働により、豊かな暮らしに役立つ商品やサービスの提供によって、社会課題の解決に挑みます。
そして、新しい価値の創造と健全な事業活動を通じて、中長期的な企業価値向上を追求し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。

重点課題	目標*
Environment 環境	・GHG排出量：政府目標に準じて半減 ・売上高エネルギー使用量比率（kl/億円） ・売上高廃棄物総量比率（t/億円） ：省エネ法の努力義務及び目標に準じて、毎年1%程度削減
Social 社会	・重大労働災害件数：0件 ・人材開発投資額（外注費用）：倍増（28千円/人） ・有給休暇取得率：70% ・育休取得率、復帰率：100%
Governance 企業統治	・コンプライアンス違反件数：0件 ・情報セキュリティ事故件数：0件 ・個人情報漏洩件数：0件

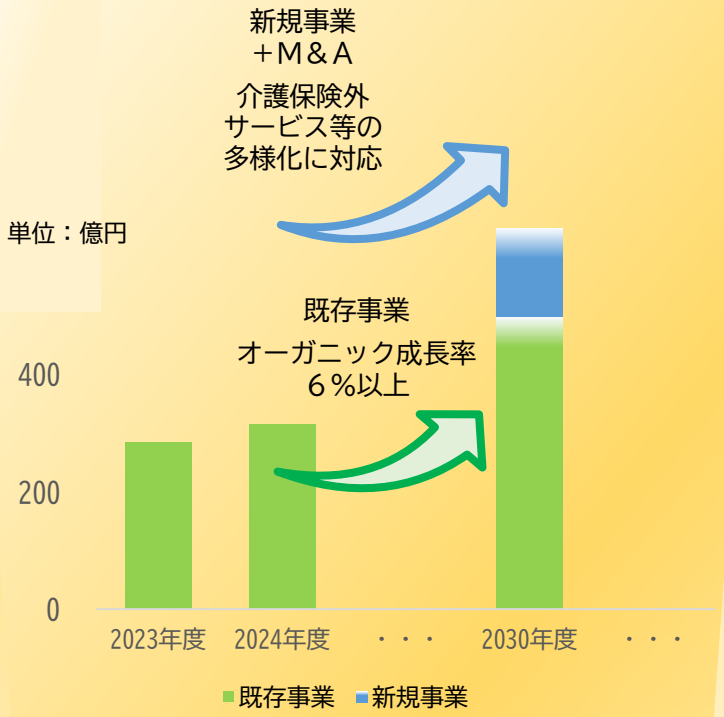
※目標値は、2022年度＋αを基準に2030年度目標を表示しております。新たな目標値策定の際は、内容を更新します。

事業拡大のイメージとキャッシュ・アロケーション
（2040年度に向けた2030年度目標）

着実な成長を目指し、経営資源の配分方針により、企業価値の最大化を図ります。
※目標値は、2030年度を表示しております。以降の目標は、適宜見直しいたします。

売上成長のイメージ

2030年度迄を想定する事業規模予想



現在

キャッシュイン
EBITDA 83億円
資金調達 15億円

2030年度

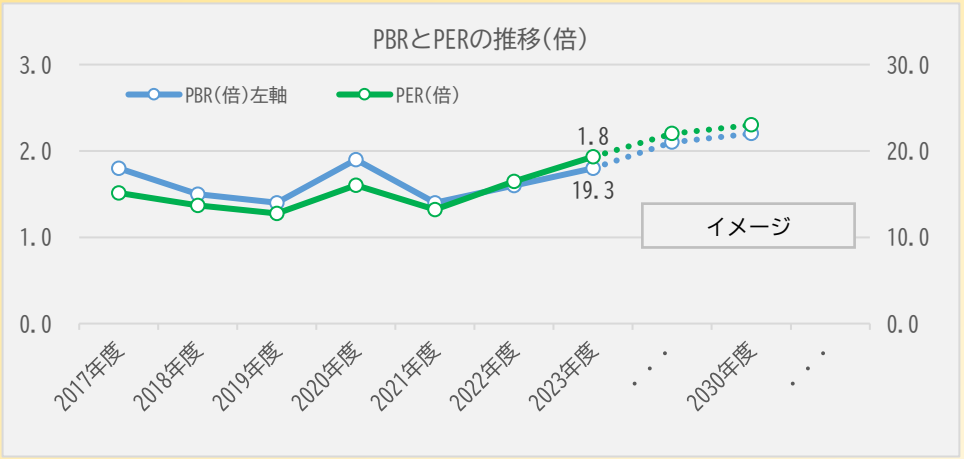
キャッシュイン	キャッシュアウト	ステークホルダー
EBITDA	株主還元 累進配当政策の導入	株主
	成長投資 既存事業 レンタル資産 拠点開発　等	取引先 地域社会
	成長投資 新規事業（M&A含）	取引先 地域社会
資金調達 ・持続可能な成長と資本コスト低減 ・資本コストを上回るROEの目標設定	人的投資 人材育成、制度拡充 健康増進　等	従業員

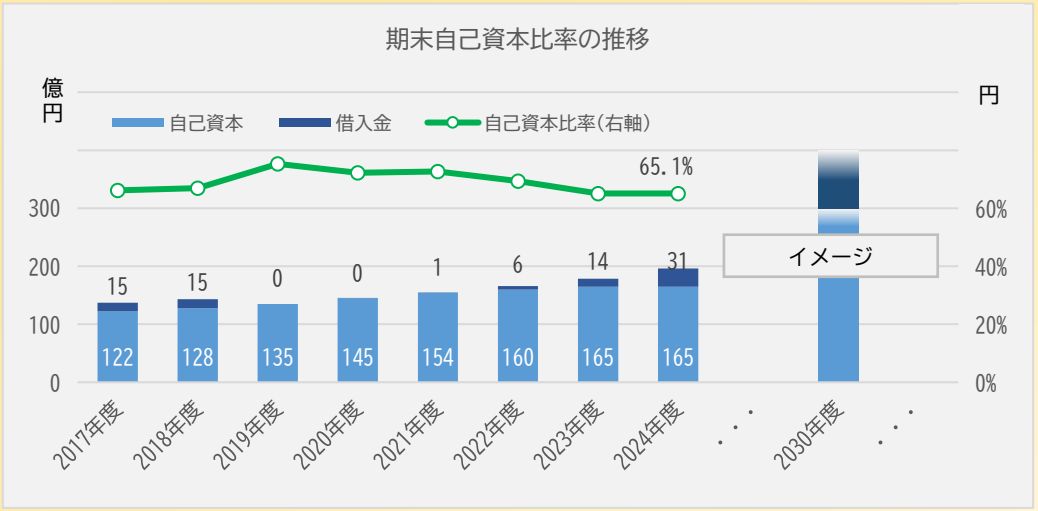
財務基盤の強化（2040年度に向けた2030年度目標）

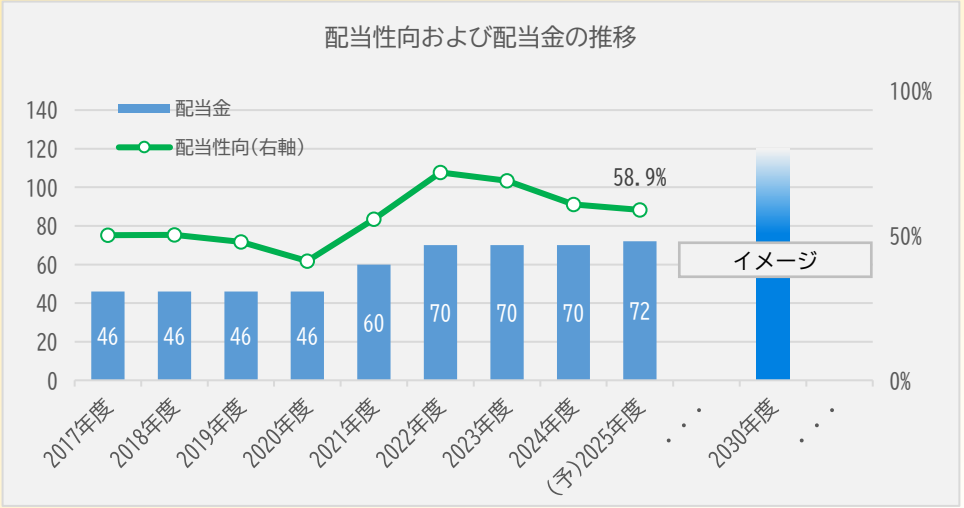
※目標値は、2030年度を表示しております。以降の目標は、適宜見直しいたします。

2030年に向けた財務戦略

- ・福祉用具レンタル市場の伸びを上回る、売上高のオーガニック成長6%以上
- ・M&Aに積極的に取り組む　業界水平統合に加えて、高齢者支援サービス事業の基盤整備へ
- ・資本コストを上回るエクイティスプレッド5%以上の確保、当期純利益成長CAGR5%
- ・累進配当制の導入+DOE目標　DOE6%を下限とする
（DOE:株主資本配当率）
- ・借入金等を活用した財務レバレッジを利かせた経営の推進
- ・PBR/PERの分析と改善策への取組み







目次

1　会社概要

2　事業環境および事業内容

3　長期ビジョン

4　決算ハイライト(2026年3月期2Q)

5　株主還元

2026年3月期第2四半期の決算ハイライト（前年同期比）

福祉用具サービスが堅調に推移し、前年同期比は増収増益

（百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	15,673	17,088	1,414	+9.0%
営業利益	1,151	1,550	398	+34.6%
経常利益	1,170	1,570	400	+34.2%
純利益※1	776	1,046	270	+34.8%
EBITDA※2	4,624	5,179	554	+12.0%

※1　親会社株主に帰属する当期純利益
※2　経常利益＋支払利息＋減価償却費

連結貸借対照表(前期末比)

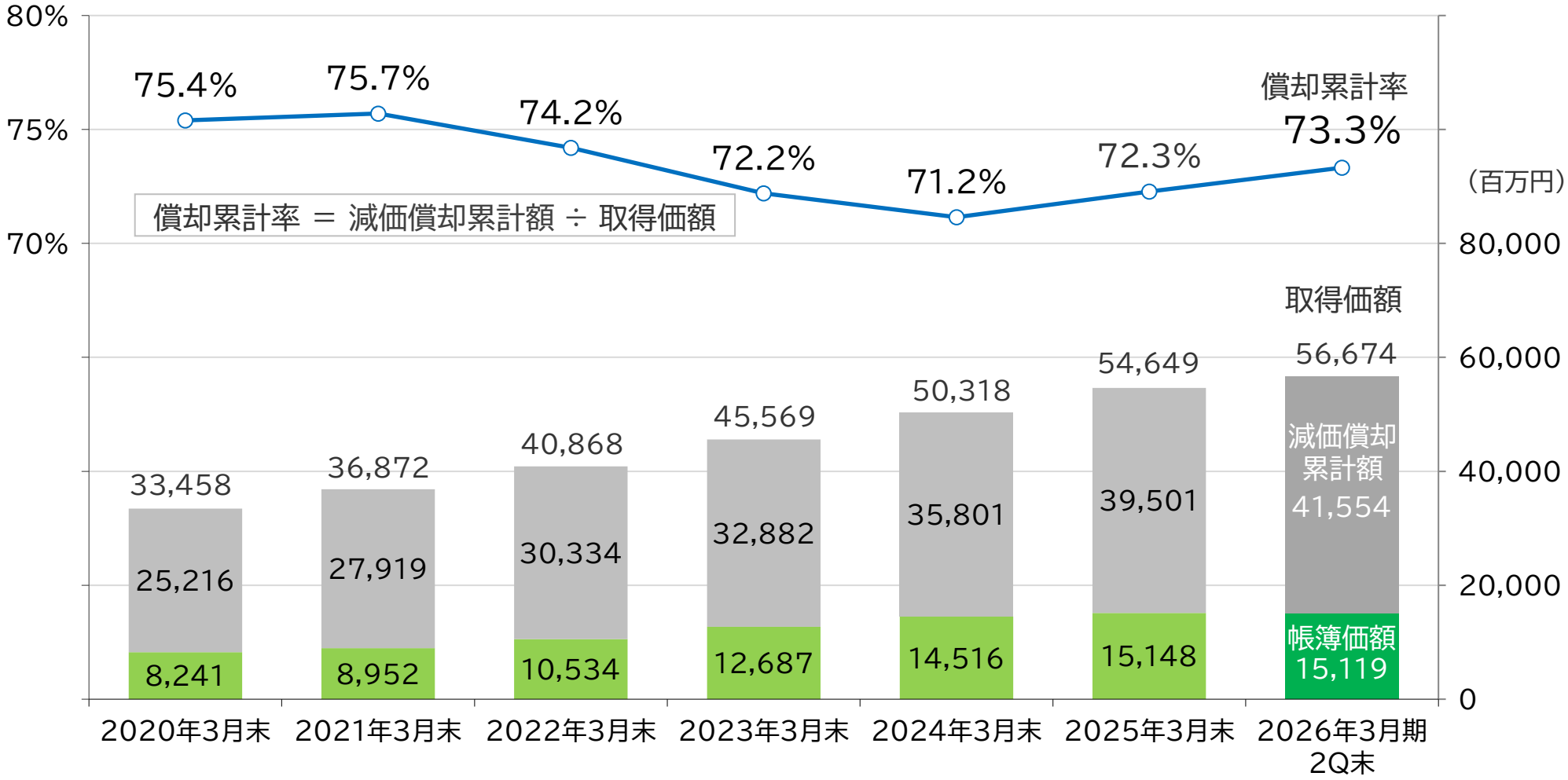
資産では、業容拡大により売掛債権が増加
負債では、レンタル資産購入未払金が増加

(百万円)

	2025年3月 期末	2026年3月 第2四半期末	増減額
流動資産	5,790	5,843	53
固定資産	20,922	20,886	▲35
(うちレンタル資産)	15,148	15,119	▲28
資産合計	26,712	26,730	18
負債合計	9,194	9,331	137
純資産合計	17,518	17,399	▲119
負債純資産合計	26,712	26,730	18

レンタル資産の保有状況の推移

レンタル資産の効率的な運用の結果、償却累計率が上昇し
利益や営業キャッシュ・フローが改善しやすい状況



2026年3月期　連結業績予想進捗

（百万円）

	2026年3月期 通期業績予想※1	2026月3月期 第2四半期実績	予想比 進捗率
売上高	34,500	17,088	49.5%
営業利益	2,650	1,550	58.5%
経常利益	2,650	1,570	59.3%
純利益※2	1,900	1,046	55.1%
1株当たり 当期純利益(円)	122.28	67.37	-

※1　2025年5月8日発表
※2　親会社株主に帰属する当期純利益

目次

1　会社概要

2　事業環境および事業内容

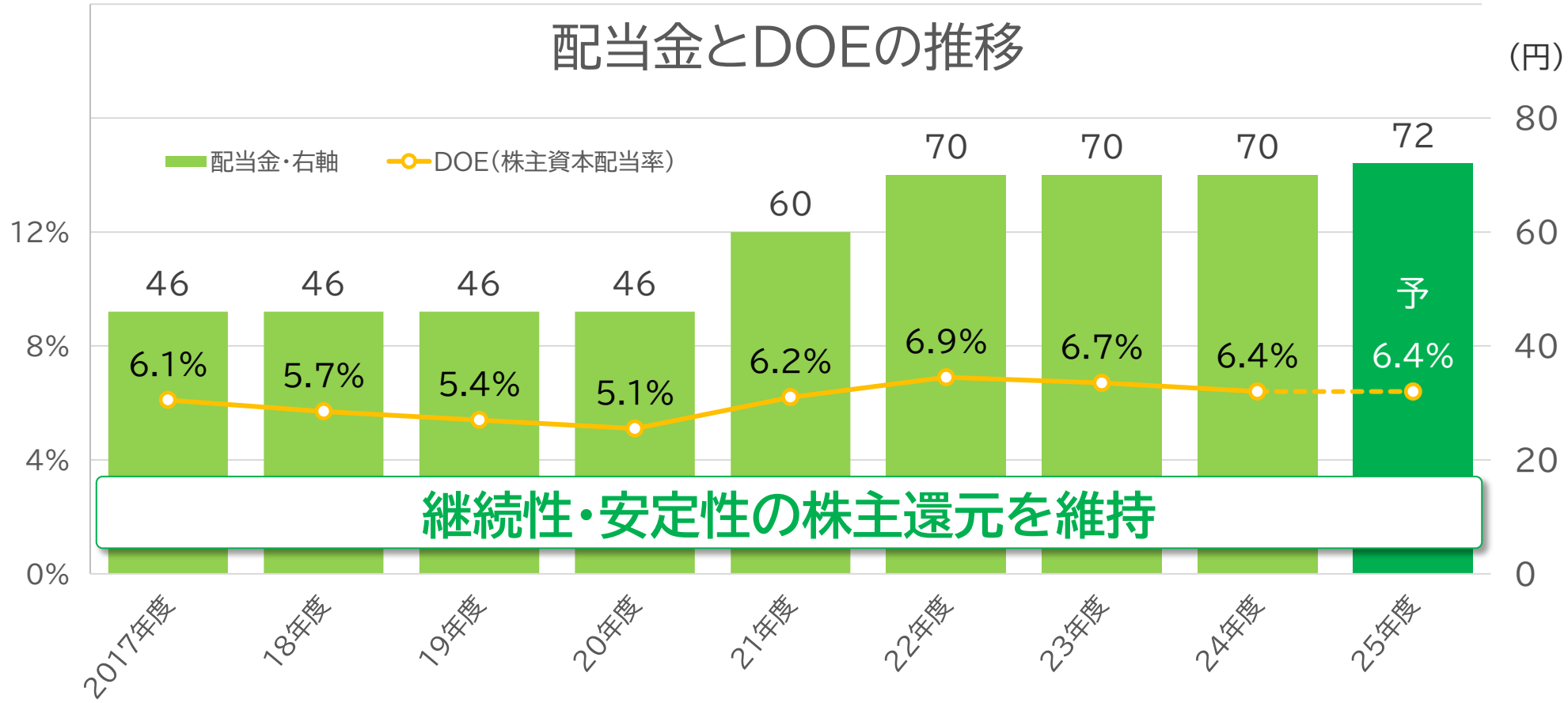
3　長期ビジョン（2025年2月3日公表）

4　決算ハイライト（2026年3月期2Q）

5　株主還元

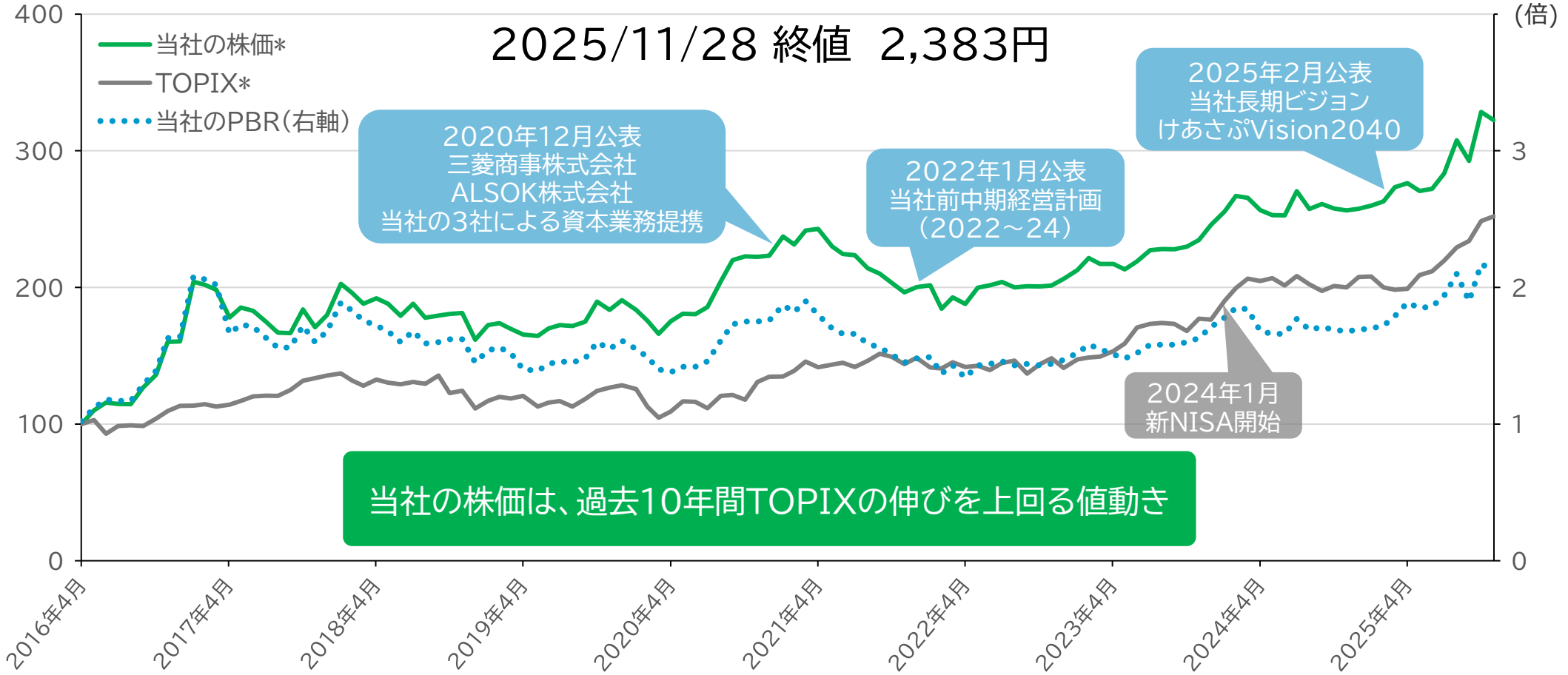
株主還元方針

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要な施策として位置付け、累進配当制度を導入及びDOE（株主資本配当率）6%を下限とする目標に基づき、配当を決定することを基本方針としております。



株価の推移

最低購入代金	予想配当利回り
￥238,300	3.02%
終値2,383円×単元株数100株	年間配当(予想)72円/終値2,383円



*当社の株価とTOPIXは、2016年4月を「100」として指数化

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている予想等は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は、記載されている予想等とは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社日本ケアサプライ
経営企画室　IR担当
TEL　03-5733-0381

健康長寿社会への貢献